



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年10月31日

上場会社名 株式会社一蔵 上場取引所 東
 コード番号 6186 URL http://www.ichikura.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河端 義彦
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 渡邊 正樹 TEL 03-5288-7111 (代表)
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績 (平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	7,808	7.3	212	△59.4	222	△58.0	121	△63.8
29年3月期第2四半期	7,278	—	524	—	529	—	336	—

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 132百万円 (△61.9%) 29年3月期第2四半期 348百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	22.41	—
29年3月期第2四半期	61.49	—

(注) 平成29年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成29年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	16,740	5,388	32.2	1,000.98
29年3月期	15,482	5,584	36.1	1,019.58

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 5,388百万円 29年3月期 5,584百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	41.00	41.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	37.00	37.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

29年3月期期末配当の内訳 普通配当 36円00銭 東京証券取引所市場第一部指定記念配当 5円00銭

3. 平成30年3月期の連結業績予想 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,791	8.4	1,152	11.2	1,163	2.1	779	2.5	143.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	5,496,283株	29年3月期	5,477,300株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	113,200株	29年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	5,443,552株	29年3月期2Q	5,477,300株

（注）自己株式については、当第2四半期連結会計期間末に一蔵従業員持株会専用信託が保有する当社株式を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

当社は、平成29年11月2日（木）に四半期決算補足説明資料をT D n e tへ開示後、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成29年4月1日から平成29年9月30日まで）におけるわが国経済は、企業業績や雇用環境の改善などを背景に緩やかな回復基調となりましたが、個人消費については可処分所得の伸び悩みや根強い低価格志向・節約志向の定着により先行き不透明な状況で推移いたしました。

(和装事業)

呉服業界におきましては、産地工房の職人など作り手の高齢化や消費者のライフサイクルの変化などの影響により市場の縮小傾向が続いておりましたが、昨今、振袖を中心としたレンタル需要や着方教室をきっかけに呉服販売等が盛んになりつつあること、以前は資産として高価な着物を所有し特別な機会にのみ着用することが多い傾向にありましたがファッションとして“着て”楽しむ消費者層が増加（「所有」から「使用」へと変化）するなどの兆しが見られること、また、経済産業省が国内和装産業の振興を図るため一般社団法人全国きもの振興会が定める「きもの日」（11月15日）に和服で執務を行う取り組みが行われるなど、引き続き大きな市場があると考えております。

このような環境下におきまして、当社グループは積極的な広告宣伝や当社グループ店内外における催事の開催により、特に振袖の販売、成人式の前撮り写真撮影などの受注獲得に努めてまいりました結果、当第2四半期連結累計期間の和装事業の売上高は5,438,885千円（前年同四半期比11.0%増）となりましたが、セグメント利益は広告宣伝費や催事関連費用の増加等により374,040千円（前年同四半期比13.7%減）となりました。

(ウエディング事業)

ウエディング業界におきましては、少子化により結婚適齢期を迎える人口が減少していることや未婚化などの影響により婚姻組数の減少傾向が続いている（厚生労働省「平成28年（2016）人口動態統計の年間推計」）一方、市場規模は1兆4千億円台をほぼ横ばいで推移（矢野経済研究所「ブライダル市場に関する調査結果2017」）しております。

このような環境下におきまして、当社グループは積極的な広告宣伝、広告やブライダルフェアのコンテンツの見直し、挙式・披露宴を演出する新サービスの提供などに努めてまいりましたが、少人数婚の施行組数の増加、及び平成29年8月5日リニューアルオープンの譲受会場「ネオス・ミラベル」に係る投資の発生等により、当第2四半期連結累計期間のウエディング事業の売上高は2,369,846千円（前年同四半期比0.5%減）となり、セグメント利益は243,205千円（前年同四半期比47.3%減）となりました。

(全社)

上記の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高7,808,732千円（前年同四半期比7.3%増）、営業利益212,869千円（前年同四半期比59.4%減）、経常利益222,245千円（前年同四半期比58.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益121,986千円（前年同四半期比63.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は16,740,625千円（前連結会計年度比8.1%増）となりました。

流動資産の残高は7,310,171千円（前連結会計年度比3.4%減）となりました。これは主に現金及び預金が291,662千円減少したことによります。

固定資産の残高は9,430,454千円（前連結会計年度比19.2%増）となりました。これは主に建物及び構築物が1,339,858千円、土地が367,135千円増加した一方で、建設仮勘定が437,577千円減少したことによります。

負債につきましては11,352,257千円（前連結会計年度比14.7%増）となりました。

流動負債の残高は9,164,282千円（前連結会計年度比15.9%増）となりました。これは主に短期借入金が760,000千円、前受金が547,282千円増加したことによります。

固定負債の残高は2,187,974千円（前連結会計年度比9.8%増）となりました。これは主に長期借入金が140,120千円増加したことによります。

純資産につきましては5,388,368千円（前連結会計年度比3.5%減）となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益121,986千円を計上した一方で、配当金を224,569千円支払ったこと、自己株式を125,410千円計上したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月10日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました通期業績予想に変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,609,938	3,318,275
売掛金	699,844	507,470
商品	1,455,492	1,660,197
レンタル商品	1,184,386	1,142,500
仕掛品	274,073	274,329
原材料及び貯蔵品	88,336	102,455
繰延税金資産	50,930	38,124
その他	204,416	266,818
流動資産合計	7,567,419	7,310,171
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,147,443	5,487,302
土地	993,412	1,360,548
建設仮勘定	580,683	143,105
その他(純額)	333,136	491,197
有形固定資産合計	6,054,676	7,482,153
無形固定資産		
ソフトウェア	102,265	90,706
のれん	105,310	92,920
その他	191,968	267,940
無形固定資産合計	399,544	451,568
投資その他の資産		
投資有価証券	248,788	261,182
出資金	100,178	100,178
敷金及び保証金	957,804	976,941
繰延税金資産	128,601	133,676
その他	24,998	24,754
投資その他の資産合計	1,460,370	1,496,732
固定資産合計	7,914,591	9,430,454
資産合計	15,482,010	16,740,625

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	730,157	621,065
短期借入金	2,100,000	2,860,000
1年内返済予定の長期借入金	408,987	493,460
未払金	437,944	564,039
未払費用	319,675	351,293
未払法人税等	285,403	125,224
前受金	3,525,216	4,072,499
預り金	24,773	34,611
賞与引当金	4,745	4,745
その他	67,479	37,343
流動負債合計	7,904,382	9,164,282
固定負債		
長期借入金	1,006,649	1,146,769
資産除去債務	250,213	284,015
退職給付に係る負債	352,748	370,163
役員退職慰労引当金	312,266	12,509
その他	71,223	374,516
固定負債合計	1,993,100	2,187,974
負債合計	9,897,482	11,352,257
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,002,201	1,012,699
資本剰余金	991,501	1,001,998
利益剰余金	3,567,680	3,465,097
自己株式	—	△125,410
株主資本合計	5,561,383	5,354,384
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,144	33,983
その他の包括利益累計額合計	23,144	33,983
純資産合計	5,584,527	5,388,368
負債純資産合計	15,482,010	16,740,625

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	7,278,997	7,808,732
売上原価	2,760,854	2,981,196
売上総利益	4,518,142	4,827,535
販売費及び一般管理費	3,993,603	4,614,666
営業利益	524,538	212,869
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,508	2,983
受取手数料	4,957	4,544
受取補償金	—	3,831
保険解約返戻金	5,544	—
その他	5,784	9,553
営業外収益合計	19,794	20,913
営業外費用		
支払利息	13,844	10,905
その他	1,349	631
営業外費用合計	15,194	11,537
経常利益	529,138	222,245
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除却損	2,261	2,291
特別損失合計	2,261	2,291
税金等調整前四半期純利益	526,878	219,953
法人税、住民税及び事業税	170,747	91,889
法人税等調整額	19,343	6,077
法人税等合計	190,091	97,967
四半期純利益	336,786	121,986
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	336,786	121,986

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成29年4月1日 至平成29年9月30日）
四半期純利益	336,786	121,986
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,595	10,838
その他の包括利益合計	11,595	10,838
四半期包括利益	348,382	132,825
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	348,382	132,825
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間（自平成28年4月1日至平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	和装事業	ウェディング 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,898,431	2,380,565	7,278,997	—	7,278,997
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,898,431	2,380,565	7,278,997	—	7,278,997
セグメント利益	433,218	461,549	894,767	△370,229	524,538

(注) 1. セグメント利益の調整額△370,229千円は本社管理費であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成29年4月1日至平成29年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	和装事業	ウェディング 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,438,885	2,369,846	7,808,732	—	7,808,732
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,438,885	2,369,846	7,808,732	—	7,808,732
セグメント利益	374,040	243,205	617,246	△404,377	212,869

(注) 1. セグメント利益の調整額△404,377千円は本社管理費であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。